


第6学年-Unit9 単元名 Who is your hero? あこがれの人 (1/2時間)

1. 単元目標 ・自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。 (コミュニケーションへの意欲・関心・態度) ・第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)

2. 表現・言語材料 ○Who is your hero? This is my hero. [He/ She] is good at (playing tennis).[He/ She] is a good (tennis player). [He/ She] is [kind/ cool/ great/ strong/ gentle/ active/ brave/ funny]. ○hero. 状態・気持ち(active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, strong, tough)

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価く方法	準備物
5分	・挨拶をする ○Small Talk(人物紹介)	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・ジェスチャーを使って内容を想像させながら、児童とやり取りをする。	写真
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Small Talk:話題 人物紹介 (例) Look at this picture. This is my hero. He is Otani Shohei. He is a baseball player. He is twenty-three years old. He can play baseball. He is good at playing baseball. He is great and cool. He is my hero. </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			
友だちの得意なことを紹介しよう。			
3分	○Let's Chant:(p.67) ・チャンツを繰り返し聞いたり言ったりする。	・最初は音楽なしで、ゆっくりリピートしながら、リズムに乗って発音させる。その時にピクチャーカードなどを使って、内容理解を促す。 ・チャンツをジェスチャーを付けて楽しく歌わせる。	デジタル教材
6分	○Let's Listen 2(p.68) ・ひかりの家族が、何が得意かを聞いて、線で結ぶ。	・話し手が自分の家族の紹介をする中で、いくつかの情報の中から「得意」であることを聞き取り、絵と結ぶことで、表現への理解を深めることをめざす。 ※「得意であるbe good at～ing」の表現に慣れ親しむことがこの活動のねらいである。	デジタル教材
10分	○ポイントゲーム(p.71) ・指導者の言う動詞、形容詞を聞き、誌面にある絵を指さす。	・動詞と形容詞の表現の確認をする。動詞についてはplay the pianoの発音だけでなく、He can play the piano. He is good at (playing) the piano.などと～ingを付けた形でのリピートもさせるが、文章で行うことが負担になる場合は、play-playingと単語で口慣らしをさせてもよい。	
6分	○Activity 1 (p.69)[自己紹介の交流] ・学んだ表現を使い、自己紹介をする。	・名前、好きなこと、できることに得意なことを付け加えて、自己紹介をさせる。例)I am ○○. I like apples. I can cook. I am good at cooking. ・ペアを変えて2～3回練習させる。 ・ある程度言えるようになったら、全体で2人(最低1人)と自己紹介の交流をし、わかったことを表に書き込ませる。 ※「自分の得意」を自ら考えることは自尊感情の向上につながり、それを友達同士で伝え合うには、友達のよさを認め合う学級であることが前提になる。	
10分	○友達インタビューの結果発表 ・友達についてわかったことを発表する。	・インタビューの結果を○○can～. He/She is good at ～ing. He is nice.などと発表させる。まずは指導者が発表のモデルを示す。 ・can,be good at～だけでなく、形容詞(状態を表す語)も使って活動させることで、最後の活動となるスピーチの内容に深みをもたせることができると思われる。 ・列でペアを変え、発表する機会を増やす。 ・時間があれば、全体の前で数人に発表させる。 ◎第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しんでいる。(外国語への慣れ親しみ)＜行動観察・発表＞	
5分	○本時の活動を振り返る。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・本時の振り返りを書かせる。	振り返りカード